

令和5年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	大泉パティシエクラブ
事業名	お菓子 de つながるプロジェクト

1 令和6年度の事業継続

{ (可) ・ 不可 } とする

2 令和5年度の実績

[活動実績]

主催イベント

・春爛漫スイーツスタンプラリー

協力店舗 12 店舗

・大泉スイーツフェスタ

来場者数 約 1,600 名 協力店舗 10 店舗

他イベントへの出店

機会出店 3 回、合同イベント 1 回

区内農産物を使ったお菓子の開発

全国都市農業フェスティバルで大泉パティシエクラブセットを販売。

SNS による認知拡大 3 月 1 日時点

・フォロワー数 1,463 人 753 人増

・投稿数 247 件

3 令和5年度の評価

SNSの定期的な活動発信でファンを着実に増やし、イベントでは、地元学生ボランティアや区内飲食店等との連携の取り組みを開始するなど、実施事業の工夫を感じました。また、区内農産物を使ったお菓子を開発し、大泉パティシエクラブセットを販売したことなど、当初の目標に取り組めたことや協力店舗の拡大ができたことも大きな成果だと言えるでしょう。今後は、団体の価値向上だけでなく、菓子店舗のネットワークを活用して後継者問題などの地域の困りごとの解決につながる取組があると更に良いと思います。

一方、事業を発展させていくためには、事業の拡大だけでなく、事業の合理化を進めていくことも大切です。団体の組織規模に対するバランス、事業目的や将来の展望の見直し、「大泉ならではのスイーツ」について再度議論し、製菓店同士が協働して生まれる価値創造や「大泉らしさ」の商品化に向けて、挑戦してみてください。

令和6年度は、区との協働期間として最後の年となります。協働期間終了後も事業を継続していくためには、多くの人手と資金が必要です。協力者を募り、事務局体制を構築するには、今年度協力していただいた地元学生ボランティア等とのつながりを大切にして、菓子店舗以外の仲間をさらに増やしていくことが求められます。また、自己資金確保の面に関しても、イベント開催における出店料の徴収など、収益可能な事業を検討し、自立した運営ができる仕組みを整えてください。今後の更なる活躍を期待しています。